第25回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和7年1月13日(土・祝) 午後5時00分~6時30分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民5名
- 4 会議次第
- (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ (市政報告)
 - (3) 懇談 (フリーテーマ)
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
	市内の病院と駐輪場に ついて	病院がちょっと少なく、なおかつ駅周辺に全部集中しているので、もう少し散らばるようにならないかなと思っています。何が不便かというと、駅の近くの病院には大体、駐輪場があるんですけれども、二、三台しか置けないようなところが多くて、特に小児科などは、みんなが大きい自転車で来るので置けない。具合の悪い子を連れて駐輪場を探すとなると、とても大変なので、解決してほしいなと思っています。	病院が少ないというか、病院はあっても駐輪場が小さくて少なくて、要するに置けないから使えないというお話ですね。まず、どこに病院をということについては、正直あまり市のほうで、ああしたい、こうしたい、そうしようというところまで関わりにくいところはあります。だから逆に言うと、駅周辺での駐輪環境をどう改善できるかというところに、もしかしたらフォーカスをさせていただくかもしれません。武蔵小金井駅・東小金井駅ともに、駐輪環境については御意見を少々いただいているところはありますので。そういう病院は、地域にしっかりと近くにあるほうが良いという声があり、その背景としては、駐輪場が少なくて置けないので困っている、利用しづらいというということですので、御意見として庁内で共有をさせていただき、できることを考えていきたいと思っています。
-/	市内のねずみ駆除につ いて	私は4年前に中町に引っ越してきまして、最初の3年はそうではなかったんですけれども、この1年で急にネズミをよく見るようになりました。朝、子どもが学校へ行く通学路で、この1年間に2回ぐらいネズミの死骸を見て、栗山公園でも1回ネズミが死んでいると見て、まりました。それ以外にの3年は全然見なかったり回っているとして、その前も、私は緑町にずっと住んですけれど、一匹も見たていまず。ちなみに、フェイスブックの小金井の掲にでも、中間の方がネズミ見たと投稿されていなとは思ってよったがでも、中間の方がれど、基本見るものじゃないなとは思ってでも、中間の家にいるとなったら、自分で何とかしようとも思りはがないるとなったら、自分の家にいるとなったら、自分の家にいるとなったら、自分で何とかます。私はずいみを出しかしないがなども、空き家とか、が減ってけど、多分からないんですけれども、空きない、かるといからないんですけれども、少し市で調査いただいて、一斉駆除みたいなことをしていただけたらいいなと思っています。	ネズミの話は私も初めて聞いたので、何ともお答えできないのですけれども、ほかにもそういう話はあるのか、その原因として何が考えられるか、その辺を庁内でヒアリングしてみたいと思います。

1

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
3	引きこもり対策について	ひきこもりは今、生産年齢人口の50人に1人ぐらいの割合でいて、怠け者とか、そういうイメージが一昔前はありましたけども、今は社会的な構造からどうしてもそういうことは発生すると言われています。小金井市も、東京都からその対策をしなさいということが来ていて、社会福祉協議会のほうで対応されていると思いますが、どうしても協議会だと、相談窓口というのが一般的です。相談窓口でネットワークをつくるという話は出ていると思うんです。けど、じゃあ、誰が具体的に、どういうことをするのかという、つくり込んだ話というのは、どうしても皆さん避けているんです。小金井市内にも2,000人弱ぐらいいるというふうに言われているので、そういう人のための対策や、具体的にどこの部署が何をするのかということを決めてほしいです。	ひきこもり対策については、おっしゃるように、体制をどうつくるかということには頭を悩ましているところではあります。今お答えできることとして、一応、来年度から、重層的支援体制というのを改めて構築するということがあります。何か全く新しいものをつくるというよりは、小金井市で今までの各種相談窓口を、重層的な支援をするための体制に整理して、そこに若干人をつけて、複合的な課題やお困り事に対してどう対応していくのか、ケースごと配慮して、一件一件しっかり支援していくことを目指して、そういう体制を組むということをようやく来年から着手する予定になっています。パブリックコメントも出たんじゃないかと思いますので、そういうところでも御意見いただければ結構ですし、その課題自体は本当に我々も痛感しているところではございますが、社協と連携しながらというのは、やはり今の小金井市のやり方になっております。その中で、いかにそれが充実した体制になるのか、本当に今、様々に困っているその成人の市民の皆さんに対する支援になるのかどうか、ここが肝だと思っておりますので、地道にしっかり、やるべきことを構築していくためにも、ぜひご意見を出していただければと思います。
4	男女共同参画の名称について	市役所に男女共同参画推進室という部署があります。これも歴史が古くて、多分30年か40年ぐらい前からあると思うんです。でも、今は男女というか、男女の分類じゃない人もいるわけで、その「男女」って少し古くないかなと思っています。30年前は女性というキーワードがクローズアップされた時代ですけれども、今は、男もつらいという意見もあると思うんですよね。やっぱりダイバーシティや多様性という観点から考えることをしていただかないと、ちょっと古いかなというふうに思っているので、そこら辺をぜひ検討していただきたいです。	私のほうからあまり言い過ぎると怒られちゃうんですけど、仰ったことは私も少々感じられるところはあります。もう男女というくくりに当てはまらない方もいらっしゃるというのが社会認識になってきている中において、男女という言葉が表に出てくる、前面に出てくるというのは、ちょっと考えたほうがいいかなとは思っています。 これは組織改正などにも影響するところではあって、今後はそういう認識も含めて、男女だけじゃない、仰っていたような多様性を前面に捉えるような、包括的に捉えるような共同参画とか、平等とか、そういった観点で物事を進められるようにしたいと私は思っておりますので、そこの認識自体はおそらく同じです。今後、そういう組織改正とか、事業を再構築していく段階で変えていくということは、私としては必要かなと思っておりますが、いつ何を具体的にいうところまでは述べられませんので、御了承いただければと思います。
5	ふれあい通りについて	SOCOLAとイトーヨーカドーの間に、一方通行の道があるんですが、あそこは迂回してくる車が結構なスピードを出して走って来るので、中で危ない思いをしたことがあるんです。どうしても連続して歩行者が歩く場所だと感じてしまうのに、そこ車の人が車優先というふうに感じて飛ばしてくることもあるので、あそこの道を専用道路にするなり、進入を規制するなりして、歩行者優先の形の道路にしていただきたいです。	SOCOLAとヨーカドーのあの一本道は、ふれあい道路と言うのですけども、御指摘いただいたことは、こういう場所でも他の方が確か出されていましたし、実は議会でも御意見として出ていて、私もそういう認識で毎日通っているところです。改めてどうするか、できる対策については、警察、道路、交通対策と合わせて考えていきたいとは思っています。ただ、言っていただいたように、あそこは歩行者優先の道路ですけれど、おそらく車で往行する方々がその認識を持てていない。じゃあ、持つためにはどうするのか、それを考える必要があると思っておりますので、これについては宿題とさせていただきたいと思います。
6	市内在住外国人のこどもの日本語ケアについて	市内には3,000人ぐらいの外国人がいますが、毎年300人ぐらい増えているという話も聞いたことがあります。小学校でも、いきなり1年生で日本語が分からない外国人の子どもがクラスに入っているという状況がある。それって実際、子どもには少し厳しくて、日本語も全然分からないで、日本人と同じ教育を受けているわけですよね。それに対するケアというのは、小金井市はちょっと薄いかなというか、無いんじゃないかなと思っていて、そこら辺の対策があればいいなと思っています。	外国人の子どもの件ですね。3,000人ということをおっしゃいましたが、実は今、3,600人に増えておりまして、10年前から比較すると1.6倍に増えています。御指摘いただいた件については、正にその支援に取り組んでいる協会の方がいらっしゃるんですけど、会うたびに厳しい御指摘をいただいております。そういった、日本語が分からない子どもの支援などに取り組んでいかないといけないと思いまして、先日も、教育長がその支援団体の講座などにも顔を出させていただきましたが、日本語を教える先生を増やしてほしいなど、様々な御要望をいただいています。それに対して、できることについて取り組んでいきたいと思っているところです。
7	郵便料について	12月中旬ぐらいに行われた公共施設のワークショップに出席するにあたり、私は市の施設関係についてあまり知らなかったので、それが分かる資料が欲しいと伝えたんですが、予算がなくて郵送できませんと言われて、本庁舎の企画政策課まで資料を取りに行きました。それで、郵便もできないような予算なのかなと、ちょっとショックだったんです。	今、お話しいただいた内容が、どういう文脈でのお話だったのか、予算がないので郵送できないというのはよく分かりませんので、担当に確認したいと思います。お金がないからという意味ではなくって、ちょっと違う意味合いとして使ってしまっているケースもあるかもしれません。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
8	市の減収対策について	先日、市長のお話で、ふるさと納税で税収が8億円減ったという話も聞きました。また、今いろいろ問題になっている壁の問題もあります。そうなった場合にどれぐらい減収になるのか、私には全然分かりませんけど、何か対策などやっておられるのか。ただ指を咥えていらっしゃるのか分からないけれど、地方では、いわゆる「稼	様ぐという点について不十分じゃないかという御指摘だと思います。まず、ネーミングライツについては、今度3月に新しく稼働する貫井北町に現在つくっております、缶・ペットボトル・プラスチックごみの資源の処理施設について、メタウォーターサステナブルパークこがねいという名前で、年間500万円を5年間いただく契約になっています。他にも、宮地楽器は既にやっております。 行財政改革の計画の中でも、例えば、総合体育館とか、栗山公園、運動センター等、こういったところも対象に、それができるかどうか、効果があるかどうかも含めて検討しているところです。また、私は今年の新年の最初の庁議の中で、「稼ぐ」ということも今後考えないといけないよねというふうな話をさせていただきました。これまでも、例えば、広告収入を増やしたり、ホームページや市報に広告を出したり、もしくは、お金をかけずに、事業者のほうで広告を取っていいからつてねと、何かそういうツールや、いと私は認識しております。まず全庁的に、そういう指示というか、声かけをしたところです。私自身がもう動かないといけないなと思っていまして、ふるさと納税についても、私なりに具体的なアイデアを持っていて、らうもありませんので、入ってくるお金をどう増やすか。やはり、「稼ぐ」という観点をもっと持たないといけないと全庁的にも話しながら、私自身のアイデアもちょっと加味して動いていきたいと思っています。この2年間、色んなことがあり過ぎて、そこまで正直、手が長に生かったのです。課として設置するのがいいのかどうか、それが生して動いていきたいと思っています。まりますので、まず、それをしっかりやらせていただきたい、考えさせていただきたいと思っています。あと、103万円の壁の話なのですけど、それが幾らになったら税収が減るのか。これはあの話が盛り上がってきたりを増で、実はもう、東京都市長会だけじゃなくて、全国市長会のほうでも、国に対して、その減収する部分の補填策もちゃんと考えてほしいという話を、国に対して要望するよう動いております。一方で、我々は我々で、さらに実入りを増やすために何をするかということを、なお一層、これまで以上の知恵を絞って考えようと話をしているところです。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	都市計画道路について	はけの道路のことでお聞きりきないです。私は東町に住んでいる。私はないのであまりきなったとでした。市でしたが、一切からところで、都の計画があるといった。古民の方とでして、市でしたが、一切がありました。です。都の部署が3つでらいたが、ということをすといった。古民の方とでして、市でしたがが、からことででした。市民の方とでして、市でしたがが、からことでもでいが、というにですがが、市のときき話しが、これによりではいったとというが、市のときがでいるとというがありました。とさいうが、市のときがでいるとというが、市のおれているところがどうないは、からなどのではないのは、からなどの方にのからにのからが、市のおれているとことがあるがとというが、あいとというがはしたというがはしたというがはしたがいるがははないいのは、からなどのからにははからのがないが、からなどのからにははないのがは、これはは、これはは、おいては、おいらのは、そういうなとというのは、そのからにというのは、そのからにといったとというのがは、そのかなには、からなどとというのがは、そうがは思いまら、た他のちがは、というがはにおいるは、そうがでと思いのは、そうがは思いまがは、一ついるがは、というがは、は、道路をかるとは、道路をかるとは、道路をかるときは、道路をかるときに、はいいに、というがは、はいいに、はいいに、はいいに、はいいに、はいいに、はいいに、はいいに、はい	まず、それは御意見として受け止めさせていただきます。前段のところは、ちょっと東京都さんが開催した オープンハウスについて、あまり私のほうから述べるわけにはいきませんので。でも、参加された立場として、 そういう感想を持ったということは御意見として伺っておきたいと思います。
10	空き家の活用について	小金井市にずっと住んでいるんですけど、空き家が結構あります。空き家になる前に空き家のお宅に伺って、小金井市の一般財源の中から、家屋と土地を買い取ることができないかなと思っています。これから大震災などが起こる確率が30年以内に7割と言われている中で、備えをしていく必要があると思っています。関東大震災級の地震が起きたときに、誰も来てくれないと思うんです。能登とい、東日本とか、神戸とか、熊本の地震のときでもなかなか行けない状態がありました。ましてや、この関東圏で起きたときには、なかなか厳しいのではないかと思っています。今、私が申し上げたような、空き家になっているところ、かつ、空き家になりそうなお宅のところの土地・家屋を買い取って、地域に小さな拠点を幾つかつくっていく。崖崩れがあって道路が寸断されてしまった時、そういうスペースがあることで、地域コミュニティーが維持できる可能性も広がってくる。	おっしゃっていることは理解できます。ただ、なかなかその土地・家屋を買い取るというのは、簡単ではないということを申し上げておきます。例えば、土地・家屋も御寄附いただくこともあるんですが、我々もなかなか全てを受けていないという現状があります。結局、家屋を買い取る、もしくは頂くということ自体、維持管理もかかってきます。その場所、立地、家屋の状況も含めて、我々としては、それを今後どういうふうに使うのかということも含めて考えないといけないので、全てに対して頂くということにはなりにくいのです。買うとなると歳出を伴うものですから、例えば、本当にその地域の公共施設の配置を考えたときに、こういう機能がこの辺に必要だというところに、実はその土地があったとなると、ここは押さえておかなければ、という話になるんですけども、出たからといって買うという、そういう簡単な話にはなりにくいので、御理解いただきたいと思います。ですので、公共施設の在り方の検討というのを今やっています。これは、公共施設の機能をどう配置していくかという検討になりますので、そういう話の中で、例えば、今後、この機能が必要だなというときに土地が出てきたら、買う・買わないということを判断するということはあり得るだろうと思います。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
111	保育園廃園問題について	保育園の廃園の話について、ほとんど断片的なことしか知らないんですけれども、前任の市長が専決処分で通した条例をあるお母さんが訴えて、小金井市はその裁判で負けて控訴をしないことにした。裁判所からは、小金井市のその条例は違法かつ無効で、慰謝料をお母さんに払いなさいということを言われているんだけども、小金井市が裁判所に従わない状態を続けていると。一般的に裁判で負けたら、もうその判決に従うのが日本国民じゃないかと思ってたら、従っているかもしれませんので、その辺の事情がもし分かれば、市長の言葉で説明をいただきたいです。	保育園の廃園の話について、全部話すとまた時間がかかってしまうのですが、まず、前任の西岡市長が、公立保育園の廃園を決める条例を専決処分しました。それが議会の不承認になったことを受けて、西岡さんは辞められました。これが2年ちょっと前の話です。それで市長選があって、私が市長になったのですけど、私がすぐ市長になった12月の最初の定例会で、専決処分された条例を元に戻すという条例を提案しましたが、それは議会で否決となって、その中で、昨年の2月22日に東京地裁の判決が出ました。さっきおっしゃられたように、ここで、専決処分は違法で条例案は無効であるということは記載されておりますが、それは主文ではないのです。そして、原告の方が求めていたのは、自分のお子さんが入りたいということだったわけですけども、それをかなえる判決だったということで、その判決に基づき我々は対応いたしました。ただ、その主文ではない部分の、判決理由のところには、専決処分が違法で、条例は無効だと書かれてあるので、我々としては、これを解消した上で、改めて公立保育園をどう配置するかということも含めての検討を進めていまして、それに基づいて方針を変更し、条例を改正する予定となっておりますので、現段階において、原告やその支援者の皆さんから、大変厳しい御意見をいただいておりますが、我々はその条例を改正するためにも、様々な課題を解決しなければ難しいと判断しておりますので、今はそれに取り組んでいるということでございます。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
12		市役所の庁舎建設の件です。年末の議会で、130億円という建設予算が、来年度も含めて必要なお金ということで、議会で承認されたということです。この市役所の問題は、3つありまで表になりら12月13日に見産し案というものが出されていて、されただされていたがら12月13日に見産し案というものが出されていて、されたがじまっても検討しないということなんですけれている。これはやはりどう考えても検証しないといけないと思ってもいる。これはやはりどう考えても検証しないといけないと思ったと言われて、それが90.7億まで上がりました。12月13日に議会ではこれについて説明をしてくださいとお話を上方がないと市美には、25年前に出されているがです。それとからからからがない。担当課長は、行政が色をあって大法というのは、という説明はありますが、それを和を検証しないけないと思いたという説明はありますが、それを和を検証しないけないと思いたら等前に出されているんです。それといけないと思いけないと思いますが、この1万7,000平米の建物に時間がかかるのから、36か月でから、27か月だったのが今、36か月でからというおも、初め、27か月だったのが今、36か月でからというよいです。それを今、36か月でからというが使かからというに直かかればお金はかかります。 時間当たり153ミリを時間10分当たりに直かかればお金はかかります。 それをの連物は大半が水没するんです。それをの部分といけれども、あの建設にでもからということで、建物は水没しないけれども、あの建設にているのは、全の時代と起こり得る想定のの部分といけが見た、高齢のなるといがよりよりに直接が表れら、高齢のなるといまがあるというとも、おおいといますが、時間がるか、単生人が使うらわはでする。私とので、、関東大震災の地震が来ているののお客ないけれている。私とのの表別が行われているを連続になっているのはを発生によいたの表現は、たちを選別するようによりによったも、本にを自身に入れが行われますけれども、それを回場のよのもよのを表しています。今年の6月に入れが行われますけれなという。ちちぬに、副舎のよのにといたできたいです。	繰り返しのことばかりですので、全てに対して一個一個お答えできないのは大変申し訳ないですが、ご自身は 16 本も限情書を出されていますので議会でもずっと議論されていることです。5 年前からとおっしゃいますけ く そうやって関わった中で、結果的には今のブランでもう連めようという語になっているという、この現状を 分かっていただきたいです。分かっていただけないかもしれませんが、人の差別を行う建物という表現されたのは、撤回いただきたいです。強か別用されますというのはわいます。ただ、庁舎だって、高齢の方だって、離が別用されますというのはあります。ただ、庁舎だって、高齢の方だって、原舎の方だって利用するわけです。庁舎と福祉会館というのは、小な能能は分けていますけども、誰が利用する、しくは、誰かしか利用してはならないと便定したものではないんですから、そういった言い方をされるというのは、私としては客観的ではないと思うので、それだけはまず申し上げておきます。 面全の話について、ちゃんとお答えしなかったのは大変申し訳なかったんですけど、もう今になってお話することはありません。理事含めてというお話がありましたが、もうこれ以上に、いろんな場で、説明会でももう、毎回出席されて色んな話もいただいていますし、タウンミーティングも毎回出席されて、同じような話をいただいています。これ以上お話することはございませんので、申し訳ないですけども、面会はする必要はないと私は思っております。また、6月の時点で130億円を超えるとおっしゃいますが、我々は子様として130億円で出しています。予算として取っているその額以上の契約はできませんので、それを超えるならば、契約は不調に終わるということだと思っています。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
13		市で行っている健幸チャレンジって、結構人気なんでしょうか。 良いアイデアだなと思っているんですが、健幸チャレンジの抽選に 外れる人が結構いるんです。もう少し予算をつけて、希望者がなる べく通るようにすれば良いなというふうに思っています。 また、健康に対するモチベーションを上げるようなアイデアみた いのを出して、もっと何か楽しいものにするよう考えられると良い なと思っています。	健幸チャレンジは、おっしゃっていただいたとおり人気があるということで、落選する方が少なくなるように 予算を増やしたらどうかということですが、健康に関するアイデアの募集など、そういう御意見もいただいてお ります。今年は、いわゆる2025年問題と言われる、団塊世代の方が皆、後期高齢者になる年です。医療・介 護の仕組みとともに、より健康に関する意識向上を図っていかないといけないと思っておりますので、まずはア イデアとしていただいておきます。
14		小金井市も駅前に高層ビルができて、他の市と比べての差別化みたいなのをちょっと考えてもいいのかなと思っています。小金井市には緑が多いというのはありますけども、「小金井市ってこういうまちだよ」というスローガンみたいなものをつくれば、今も増えていますけど、もっと住民が増えて、住んでいる人のモチベーションが上がるような気もするので、そういう考えは何かありますか。	次の他の市と比べての差別化を考えたらということと、スローガンみたいなものを掲げてはどうか、ということ。そういうことも考えないといけないなと思っています。というのも、「小金井市ってどういうまち?」となったときに、共通の言葉として出てくるものがない。ただ、いろんな調査をしてみると、やっぱり水や緑というところは出てくるんですけど、そもそも多摩地域はどこも同じ話をしているんですよね。小金井は小金井として、やっぱり湧き水とか、はけ・国分寺崖線があることによっての水の虚み、いろいろな恵みがあって、これももう明らかな特徴の一つではあります。ただ、水・緑という言葉だけだと、多摩地域のスローガンを立べてみたときに、どこも同じような言葉を使っているなと感じたことではありますので、それを小金井市として非常に大事にするとしても、それ以外で何か小金井の特徴を、「こういうまちだね」「もっとこういうまちになりたいね」というような、そういう言葉をつくっていくということを、また近い将来やらなければいけないなと思っているところです。 人口の話をしますと、今、12万5,000人を超えたところです。1年前と比べると若干増えてはいます。ですので、微増傾向は続いておりますが、月によっては減ったりもするんです。若干踊り場の様相も見えてきいるところです。彼増傾向は続いておりますが、月によっては減ったりもするんです。若干踊り場の様相も見えてきいるとこますが、日本全体として人口が減っているたところです。1年前と比べると若干増えてはいます。ですので、微増傾向は続いておりますが、月によっては減ったりもするんです。若干踊り場の様相も見えてきいるとは努力しなければいけないと思っている中におしては、じつかみみたいないようにとによって、まりのよければいけないと思っていくということによって、まり出しなる。こういう何かを今後つくっていくということにはして、リアルタイムで日覧に、市民の皆さんへの情報と使としているという出道なところから始めておりませるとれ、市民の皆さんへの情報と使として、市としてのブランドをどうつくっていくかということを考えて。もととそういう仕事をやっていましたので、実は早くやりたいのですけども。そういうことはどこかの段階では必要だと認識しております。
15	単身高齢者の終活登録 について	小金井市の介護関係で聞いたことがあるんですけど、単身世帯の高齢者の包括支援とかはどういう形でやっているんですかと言うと、ヘルパーさんやお医者さんの見守り制度みたいのがあると言われました。ただ、神奈川の方だと、単身の高齢者に、いわゆる終活登録みたいな感じで、仮に身寄りがなくても、ふだん会っている人に亡くなったら連絡してほしいとか、そういう登録ができる課があると聞きました。小金井には、そういうものはないみたいですけれど。 高齢化で独り暮らしというのが増えてくると思うんで、この辺りのケアができるような、何か通信手段を配るとか、孤立させない、若い人も含めてつながりがあるような、そういうものを織り込んでいただけるとすごく安心して暮らせるんで、ぜひこの辺りをお願い	神奈川県のほうで何か終活登録をしているという話ですが、たしか横須賀市とかでやられているというのを、私も耳にしたことはあります。今後はそういうことも、我々としてもしっかり学んで、何かできることを市としても考えなきゃいけないとは思っているんですけど、もう少し研究させていただきたいと思います。ただ、おっしゃったように、独り暮らしの高齢の方で、単身世帯が今後増えていく推計は、もう現実のものとなるのは分かっておりますので、そこへどう準備していくかということのメニューの一つとしては、おっしゃったようなことはあるかと思います。 ご意見として承ります。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
16	マイナ保険証について	ニュースで、保険証とマイナンバーカードとを結びつけるマイナ 保険証の手続きが自治体でできると聞いたんですけど、担当の方に 小金井市ではできないと言われました。マイナ保険証を、医者へ行ってとか、マイナポータルを開いてとか言われたのですが、普段 かかりつけの医者もないし、医者行くこともないです。自治体でできる・できないがあるというのは、何の差なのですか。そこだけ 伺っておきたいです。	マイナ保険証についてはちゃんと把握できていないので、少々確認します。